

IBM

@server

iSeries

モデル 830/840/870/890 システム装置、
5074/5079/5094/5095 拡張タワーへの
取り外し可能媒体装置の追加取り付け

バージョン 5





@server

iSeries

**モデル 830/840/870/890 システム装置、
5074/5079/5094/5095 拡張タワーへの
取り外し可能媒体装置の追加取り付け**

バージョン 5

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

取り外し可能媒体のインストール

取り外し可能媒体装置フィーチャーはユーザー自身でインストールすることができます。ハードウェアのインストールには、約 1 時間かかります。ただし、ユーザー自身でこのフィーチャーをインストールしない場合は、IBM® または IBM 特約店にお問い合わせください。有料でフィーチャーのインストールを行います。

ユーザーのジョブを完了し、システムのバックアップを取り、システムの初期プログラムロード (IPL) を実行して、ハードウェア構成を検査するためにかかる時間も見込んでください。

この手順では、以下の作業を行います。

- 拡張タワーの前面カバーを取り外す。
- 新しいハードウェアを取り付ける。
- カバーを取り付ける。
- 非並行導入を実施する場合は、オペレーティング・システムの IPL を行う。
- 新しいハードウェア構成を検査する。

はじめる前に

取り外し可能媒体装置の取り付けを行う前に、以下の指示に従ってください。

- オペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムの最新バックアップが手元にあることを確認します。PTF を最後に適用した後でオペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムのバックアップをとってあれば、そのバックアップでかまいません。
- 手順全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- 部品が正しくなかったり、欠落している、あるいは外観上損傷がある場合には、以下にご連絡ください。

- IBM 特約店
- IBM 営業担当員
 - 1-800-300-8751 (米国)
 - 1-507-253-5242 (全世界共通)

- 新しいフィーチャーをインストールする前に、PTF 前提条件があるかどうかを確認してください。次の Web サイトにアクセスします。

<http://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/10000051>

1. 「**All Documents**」を選択します。
2. 「**Collapse**」を選択します。
3. 「**General Information**」を選択します。
4. 「**Offerings**」を選択します。
5. 「**Feature Prerequisites**」を選択します。
6. 「**Customer Install Features Prerequisites**」を選択します。

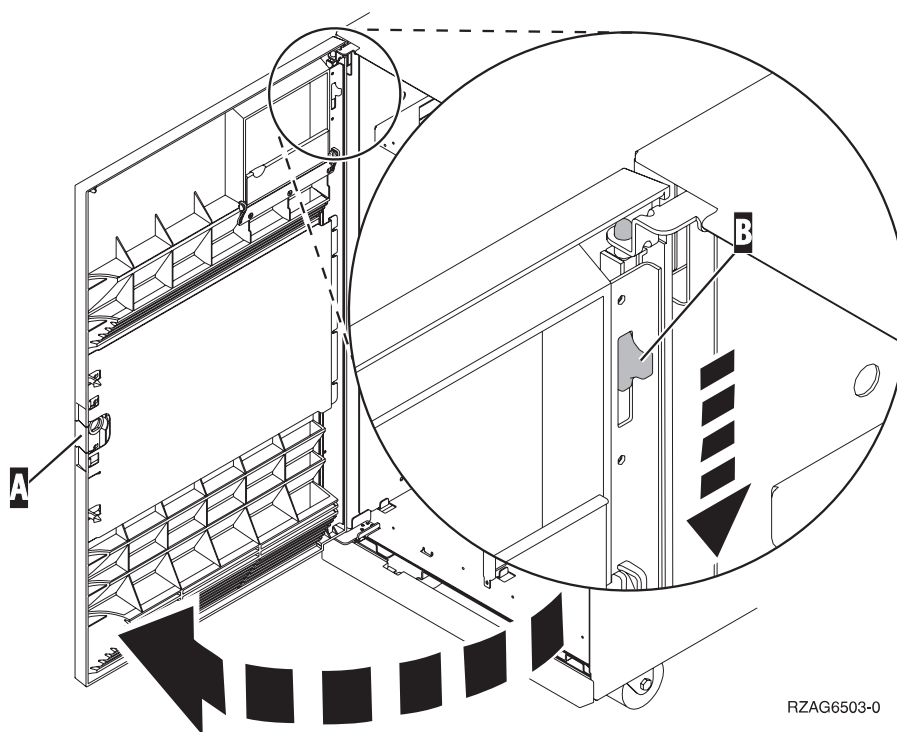
7. この製品のフィーチャー番号と OS/400[®] リリースを見つけて、前提条件を調べます。

取り外し可能媒体装置のインストール

この手順では、拡張タワーに取り外し可能媒体装置をインストールするために必要なステップについて説明します。これにより、取り外し可能媒体装置を並行インストールするか、それとも電源遮断して取り外し可能媒体装置をインストールするかをユーザーが決める一助となるはずです。並行インストールの場合は、拡張タワーを電源遮断することはできません。

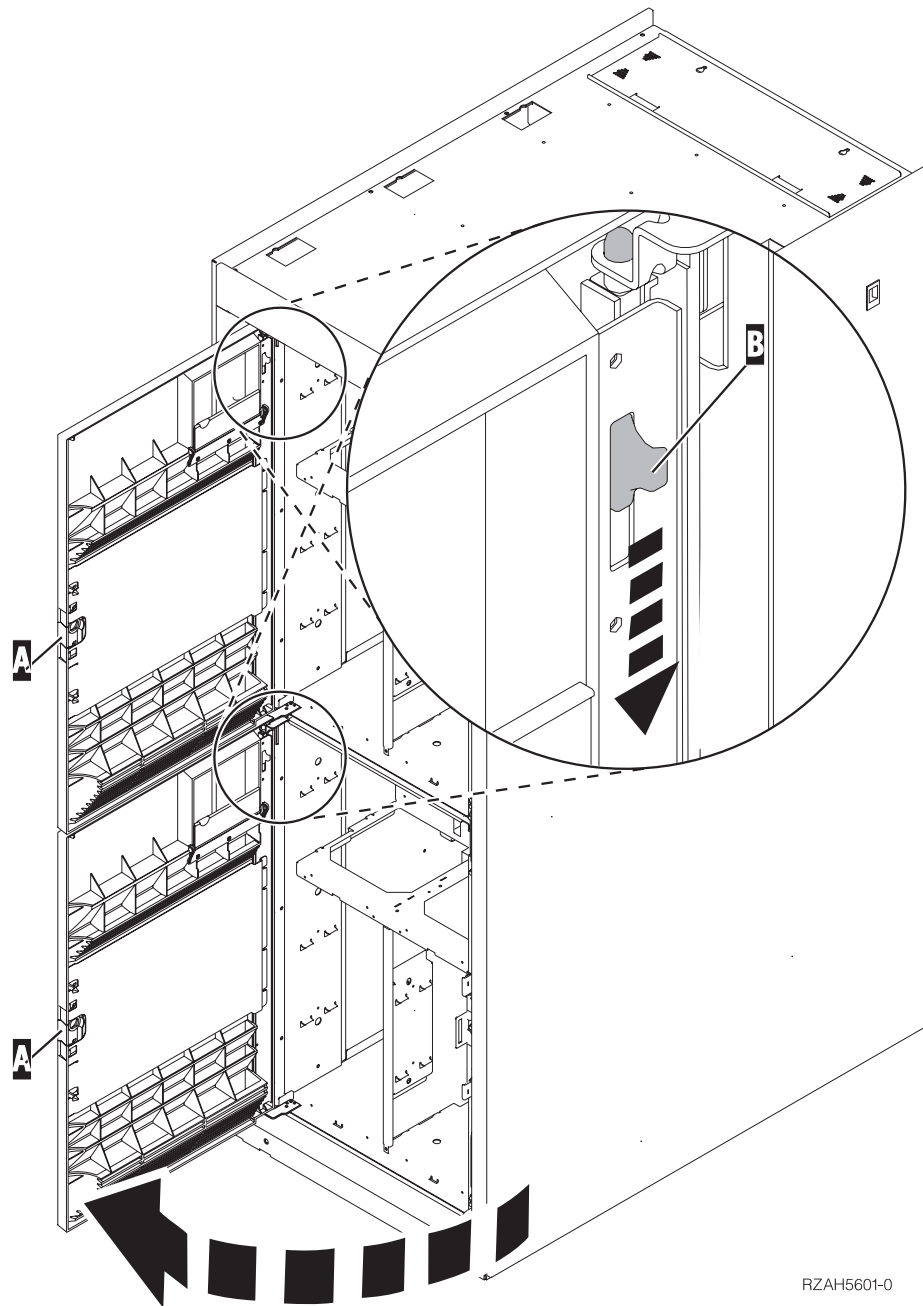
インストール中に不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。

- ___ 1. システム装置の電源はオフになっていますか？
 - ___ いいえ: 次のステップに進みます。
 - ___ はい: ステップ 4 (7 ページ) に進みます。
- ___ 2. 前面カバー **A** (図 1、5074、5094、5095、830、840、870、または 890。3 ページの図 2、5079 または 5294) を開けます。
- ___ 3. ラッチ **B** を使って前面カバーを取り外します。



RZAG6503-0

図 1. 前面カバー扉の開け方 (5074、5094、5095、830、840、870、890)



RZAH5601-0

図2. 前面カバー扉の開け方 (5079)

— 4. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。

注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
- b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。

- c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- __ 5. 始める前に、『並行手順 (システム装置の電源がオン)』のステップの複雑さを理解しておく必要があります。並行手順が使いにくい場合は、7 ページの『非並行手順 (システム装置の電源がオフ)』に進んでください。

並行手順 (システム装置の電源がオン)

以下の手順で並行インストールを実行します。

重要: この手順に従わなければ、新しい取り外し可能媒体装置またはシステム装置を損傷し、データが失われる恐れがあります。

- __ 1. まだ**保守権限**でサインオンしていなければ、サインオンします。
- __ 2. iSeries コマンド行で、**strsst** と入力します。実行キーを押します。
- __ 3. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。実行キーを押します。
- __ 4. 「システム保守ツール (SST)」画面が表示されたら、「**保守ツールの開始**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 5. 「**保守ツールの開始**」メニューが表示されたら、「**ハードウェア保守管理機能**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 6. 「**ハードウェア保守管理機能**」メニューが表示されたら、「**パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 7. 「**パッケージ・ハードウェア資源**」メニューにおいて、取り外し可能媒体装置をインストールする拡張タワーを探します。
- __ 8. 拡張タワーを見つけたら、「**フレーム ID**」フィールドを調べます。(フレーム ID は各拡張タワーの前部に表示されています。)
- __ 9. 「**フレーム ID**」フィールドに表示される番号をここに書き込みます
:_____。
- __ 10. ステップ 9 で示されている、拡張タワーの前面カバーの内側のラベルを調べます。取り外し可能媒体装置を取り付ける位置を見つけます。
- __ 11. ユーザーの装置の「**装置資源名**」欄に表示される番号をここに書き込みます
:_____。この番号は装置の位置です。
- __ 12. **F3** を 1 回押して「**ハードウェア保守管理機能**」メニューに戻ります。
- __ 13. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面で、「**装置並行保守**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 14. 「**物理装置または資源名を指定してください**」フィールドに次のものを入力します。
 - a. フレーム ID のステップ 9 で決定した番号。
 - b. ステップ 11 で決定した装置資源の物理位置。

- __ 15. 新規装置を取り付けようとしている位置から、取り外し可能媒体装置のベゼルを引き抜きます。
- __ 16. **重要:** 取り外し可能媒体装置は壊れやすいので、注意して取り扱ってください。
必ずリスト・バンドを着用してください。 リスト・バンドの一方の端を手首に巻き付け、反対の端を拡張タワーのフレームに接続してください。
- __ 17. 新しい取り外し可能媒体装置アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。
- __ 18. 取り外し可能媒体装置を拡張タワーに導入する前に、ハンドルを手前に引き出します。
- __ 19. テープ装置の場合は青いボタンが右上になるように、CD-ROM の場合はボタンが右下になるようにして、装置を持ちます。ハンドルで取り外し可能媒体装置を持たないでください。
- __ 20. 6 ページの図 3 を参照し、取り外し可能媒体装置の底部を支えて、選択された位置に半分だけスライドさせて入れます。それ以上は押さないでください。
- __ 21. 「処置を指定してください」フィールドで、「**装置の導入**」オプションを選択します。
- __ 22. 「時間値 (00-19) を入力してください」フィールドで、**01** (1 分) と入力します。
- __ 23. 実行キーを押します。
注: 取り外し可能媒体装置の右側のライトを見てください。ライトがオンになり、速く明滅し始めたら、9 秒間のうちに取り外し可能媒体装置を正しい位置にスライドさせて入れます。
- __ 24. ライトが明滅を始めたら、取り外し可能媒体装置が正しく収まるまでスライドさせて入れます。両側のハンドルを同時に押し、取り外し可能媒体装置を正しい場所にロックします。

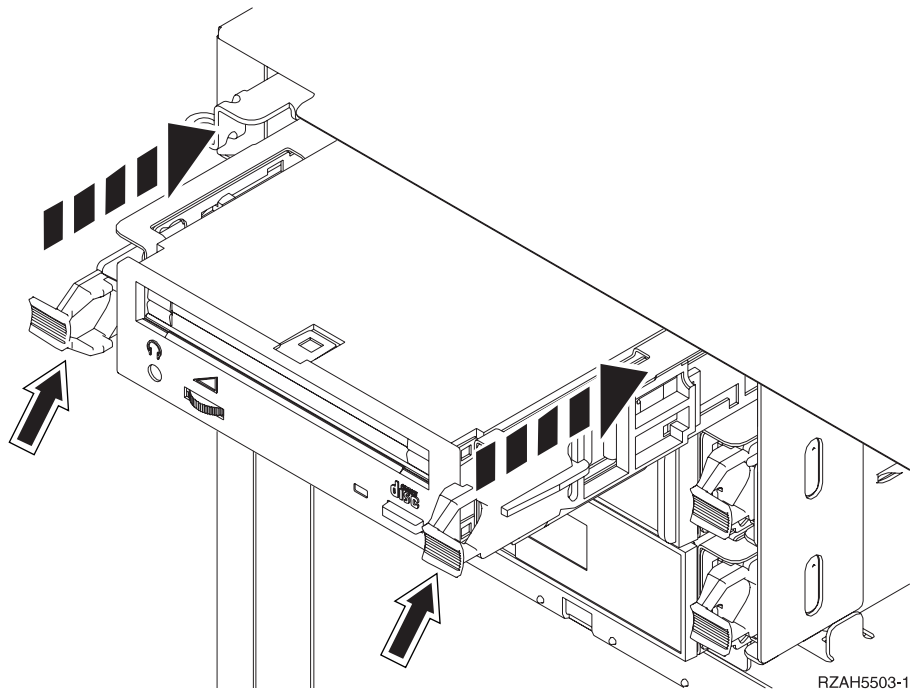


図3. 取り外し可能媒体装置の取り付け

- __ 25. 取り外し可能媒体装置が正しく設置できると、緑のライトが明滅を停止し、オンのままになります。
- __ 26. コンソールに戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるまで待ちます。実行キーを押します。
- __ 27. 「ハードウェア保守管理機能」メニューが表示されたら、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)」オプションを選択します。実行キーを押します。
- __ 28. 「パッケージ・ハードウェア資源」メニューにおいて、取り外し可能媒体装置を備えた拡張タワーの隣にある *Opt* 欄に **9** を入力します。実行キーを押します。
- __ 29. 記述 および装置タイプ - 型式 が、新しい取り外し可能媒体装置が取り付けられた位置とともに表示されます。
- __ 30. **F3** を 1 回押して「ハードウェア保守管理機能」画面に戻ります。
- __ 31. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、印刷装置がある場合は **F6** を押して構成リストを印刷します。ユーザー自身またはサービス技術員が、後で構成リストを参照することがあります。
- __ 32. 拡張タワーの前面カバーを取り付けます。
- __ 33. **F12** を 2 回押してから実行キーを押して、メイン・メニューに戻ります。
- __ 34. これでフィーチャーのインストールは完了です。

非並行手順 (システム装置の電源がオフ)

- 1. システム装置に論理区画をインストールしている場合は、 *iSeries Information Center* を参照してください。論理区画を持つシステムの電源遮断に関する説明は、 *iSeries Information Center* の『論理区画の管理』に進みます。
- 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- 3. すべてのジョブが完了したら `pwrdownsys *immed` を入力します。実行キーを押します。
- 4. *iSeries* の電源遮断が完了したら、すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- 5. システム装置の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- 6. 拡張タワーの電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- 7. 前面カバー **A** (2 ページの図 1、5074、5094、5095、830、840、870、890。3 ページの図 2、5079 または 5294) を開けます。
- 8. 必要に応じて、**B** に示されているラッチを使用し、前面カバー (2 ページの図 1、5074、5094、5095、830、840、870、890。3 ページの図 2、5079 または 5294) を取り外します。
- 9. **重要:** 取り外し可能媒体装置は壊れやすいので、注意して取り扱ってください。
必ずリスト・バンドを着用してください。リスト・バンドの一方の端を手首に巻き付け、反対の端をシステム装置のフレームに接続してください。
- 10. 新規装置を取り付けようとしている位置から、取り外し可能媒体装置のベゼルを引き抜きます。
- 11. 新しい装置が入っているパッケージを見つけ、静電気保護パッケージから取り出します。
- 12. 装置をまっすぐに持ち、両側のハンドルを手前に引きます。
- 13. テープ装置の場合は青いボタンが右上になるように、CD-ROM の場合はボタンが右下になるようにして、装置を持ちます。ハンドルで装置を持たないでください。
- 14. 8 ページの図 4 を参照して、ベゼルを取り外した場所に装置を位置合わせします。
- 15. 取り外し可能媒体装置を拡張タワーに止まるまでスライドさせて入れます。
- 16. 両側のハンドルを同時に押し、取り外し可能媒体装置を正しい場所にロックします。

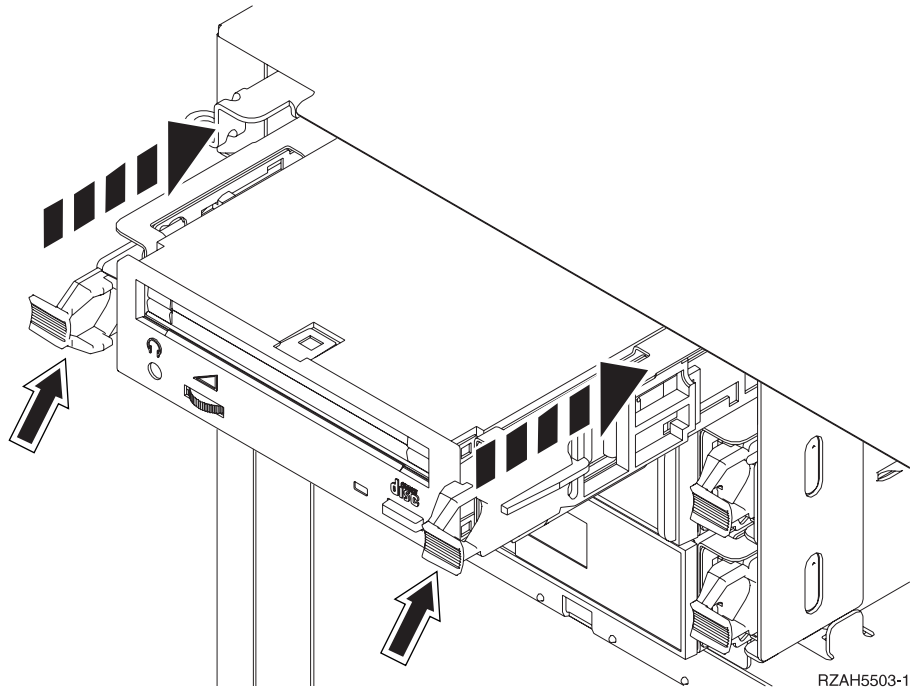


図4. 取り外し可能媒体のインストール

__ 17. インストールする機構がまだ他にありますか？

- __ いいえ: 次のステップに進みます。
- __ はい: インストールする機構 (たとえばテープ機構、CD-ROM 駆動機構など) がまだ他にもある場合は、その機構に付属している説明書を参照してください。

__ 18. 前面カバーを取り付けます。

⚠ 危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

__ 19. システム装置とシステム装置コンソールのプラグを差し込みます。印刷装置や表示装置など、取り付け前にプラグを抜いた装置をすべて接続します。

__ 20. すべての接続装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオンにします。

__ 21. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。

__ 22. 「機能/データ」表示パネルに、通常標識 (OK) が点灯して **01 B V=S** が表示されましたか？

- __ はい: 次のステップに進みます。
- __ いいえ: 以下の作業を行います。
 - __ a. 手動標識 (小さい手) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。

- __ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ h. 正常標識 (**OK**) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - __ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」表示パネルに正常標識 (**OK**) が点灯して、**01 B S** が表示されましたか? このように表示されない場合は、ステップ 22a (8 ページ) ~ 22j を繰り返します。
- __ 23. システムのコンソールであるワークステーションまたは PC の電源をオンにします。
 - __ 24. 「電源」押しボタンを押して、システム装置の電源をオンにします。
 - __ 25. システム装置にサインオンします。保守権限をもっているか確認してください。
 - __ 26. 次の手順で取り外し可能媒体装置の構成を確認します。
 - __ a. コマンド行で、**strsst** と入力します。実行キーを押します。
 - __ b. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。
 - __ c. 「システム保守ツール (SST)」画面が表示されたら、「**保守ツールの開始**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - __ d. 「**保守ツールの開始**」画面が表示されたら、「**ハードウェア保守管理機能**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - __ e. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面が表示されたら、「**パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - __ f. 「**パッケージ・ハードウェア資源**」画面において、取り外し可能媒体装置を備えた拡張タワーの隣にある *Opt* 欄に **9** を入力します。拡張タワーの前面に表示されているフレーム ID を使用します。
 - __ g. *記述* および *装置タイプ - 型式* が、新しい取り外し可能媒体装置が取り付けられた位置とともに表示されます。
 - __ h. **F3** を 1 回押して「**ハードウェア保守管理機能**」画面に戻ります。

- __ i. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、印刷装置がある場合は **F6** を押して構成リストを印刷します。ユーザー自身またはサービス技術員が、後で構成リストを参照することがあります。
- __ j. **F12** を 2 回押してから実行キーを押して、メイン・メニューに戻ります。
- __ k. これでフィーチャーのアップグレードは完了です。



Printed in Japan